

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【公表番号】特表 2016-529756 (P2016-529756A)

【公表日】平成 28 年 9 月 23 日 (2016.9.23)

【年通号数】公開・登録公報 2016-056

【出願番号】特願 2016-516829 (P2016-516829)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/262 (2011.01)

G 0 6 F 3/0482 (2013.01)

G 0 6 F 3/0484 (2013.01)

H 0 4 N 21/6332 (2011.01)

H 0 4 N 21/44 (2011.01)

H 0 4 N 21/436 (2011.01)

【 F I 】

H 0 4 N 21/262

G 0 6 F 3/0482

G 0 6 F 3/0484 1 2 0

H 0 4 N 21/6332

H 0 4 N 21/44

H 0 4 N 21/436

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 22 日 (2017.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 9 】

例示的なフィーチャとして、様々な例示的实施形態によると、メディア装置 1 4 0 の同期モジュール 2 3 2 は、コンパニオン装置 1 3 0 上のアプリケーション 4 4 0 に、メディア装置 1 4 0 によってアクセスされる（例えば、受信する）データストリームをユーザ 1 3 2 が変更する（例えば、ユーザ 1 3 2 が異なる放送データストリームを視聴するために放送チャンネルを変更することによって）ことに応答して、補充コンテンツを変更する命令を提供することが出来る。例えば、補充コンテンツを変更するためのこの命令は、新規のデータストリームに対応する新規の補充コンテンツの URL である、あるいは、を含むことが出来る。ある例示的实施形態においては、この命令は、コンパニオン装置 1 3 0 上のコンパニオンモジュール 2 3 4 へ提供されることが出来、コンパニオンモジュール 2 3 4 は、その次の起動のときに、アプリケーション 4 4 0 にこの URL を提供するように構成されることが出来る。従って、アプリケーション 4 4 0 が閉じられ、ユーザ 1 3 2 が、メディア装置 1 4 0 上のチャンネルを変更するとき、アプリケーション 4 4 0 は、新規のチャンネルに対応する適切な補充コンテンツで起動されることが出来る。